

RC2005

Relativistic Channeling and Coherent Phenomena in Strong Fields

(今回は RREPS-2005 と合同)

2005 年 7 月 25 日 ~ 7 月 28 日 (イタリア Frascati)

主催: LNF (INFN)

出国 (7/23)

成田 パリ (シャルル・ドゴール) ローマ (フィウミチーノ)

.

ローマ到着 (7/24)

空港 ローマへ

.
. .
. .
. .

ローマ Frascati (フラスカーティ)

.
. .
. .
. .
. .

- ・ファーストフードの店のサラダでもモッツァレラがたっぷり
- ・予備の鍵が無いから、とって到着早々鍵交換作業
- ・シャワーがとてとても狭い (0.5mX0.5m)

.

シンポジウム (7/25 ~ 7/28)

基本的にはチャネリング放射の話題がメイン (特に高エネルギー物理実験への応用)。それに PXR や Smith-Purcell 放射などが加わるといった感じ。

.

- ・部屋の備品はしょぼいけど (TV すら無い) 保養所としてはいい感じ。
- ・参加者は 30 人程度。しかもほとんどが旧ソ連 (ロシア、ウクライナ、アルメニア) . . .
- ・時間管理は結構アバウト。こんなに付録を用意することも無かったな。

レジストはカードで済まそうと思っていたら、現金のみ . . . しょうがないから研究所内の銀行に連れていってもらって、トラベラーズチェックを現金化。

.

- ・高エネルギー物理実験としては、(s-反s)ファクトリーで510MeV+510MeVのコライダーがある。
- ・最近、加速器の電子源としてCナノチューブの研究をしてるらしい
- ・研究所のカフェテリアで一緒に食事。結構なボリュームでした。
- ・ブドウとオリーブの小規模農園が広がっている。日本の田舎と似たような感じ。
- ・こんなところに・・・ちなみにホテルで作業していた何かの工事車両

日本人グループと Orsay の Chehab さんと食事@町のカフェレストラン

- ・ピザ生地みたいなやつで、ほいほい食べてしまう
- ・きのこのきしめん。塩味は強いが、かなり美味しいパスタでした。

ランチは会場ホテルのレストランで出してくれた&水曜日の晩はシンポジウムディナー。

- ・昼間からワインが・・・Frascati は白ワインが有名だが、ホテルで出たのは赤ワイン(らろっか?)が結構良かった。
- ・シンポジウムディナー:
 - ・ホテルの食事は某超大国と違って割と良かった。さすがにイタリア。

ローマ市内観光

ローマ市内はやたらと暑かった・・・

- ・伴天連のアジト@バチカン
- ・カリグラが人気取りのためにエジプトから運ばせたらしい
- ・大聖堂の中
 - ・ヨハネ・パウロ II さんのお墓には真剣にお祈りをしている信者さんが結構居ました。
- ・ドームが2重になっていて螺旋階段がぐるぐる・・・写真を撮る余裕も無かった。お年寄りはそのらでへたってるし。

昼ごはんは定番メニュー

- ・本場のカルボナーラは割とボソボソした感じ

午後は歩きがてら

- ・最寄りの国立パスタ博物館には行きそびれた

Frascati に戻って夕食

- ・ サラダ菜の類みたいだけど、色も味もしそっぽかった・・・

雑感

- ・ イタリアも日本同様自動販売機（切符、飲み物）が多いが、結構な割合で故障しているのがイタリアっぽい
- ・ スリは本当に多い（特にジブシー風）。荷物で手がふさがっているときは要注意。暴力的ではないが、結構あからさまに仕掛けてくる。
- ・ 水ボトルはガス無し、ガス入りの両方流通していて、どっちがデフォルトってということはないみたい。なので、買うときにはどちらか聞かれる。
- ・ 列車の時間は正確なんだかいい加減なんだかよくわからない
- ・ ローマ周辺は熱波で暑く、Frascati でも日差しは強烈であった。しかし、避暑地なだけあって湿度が低く木陰では過ごしやすい。朝夜は快適。

帰国（7/29 ~ 7/31）

トラブル多し

- ・ ローマ パリの便の出航が3時間近く遅れる
- ・ トランジットに間に合わなかったのでパリ 成田のフライトは半日後に振替
- ・ 振替フライトで朝ターミナルに行ったら、いきなり自動小銃（初めて本物を間近で見た）を持った部隊がターミナルの一部を封鎖。大回りをしてゲートへ行くはめに。
- ・ カウンターに預けた荷物は一緒に日本に到着せず。翌日宅配となった。
- ・ お土産のチーズ腐っちゃった・・・真空パック不十分（イタリア仕事）